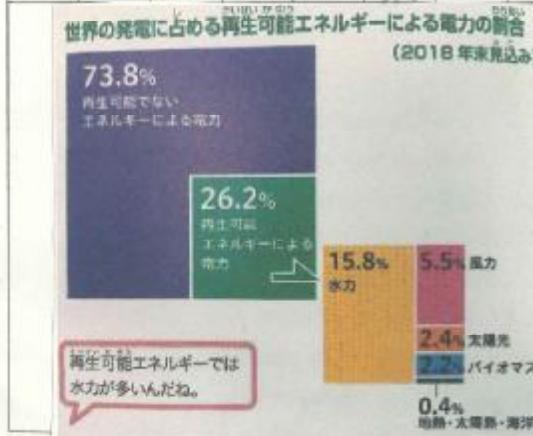


日本にはたくさんのエネルギーがある。

その中でもよく使われているのは、石油や石炭などの化石燃料だ。しかし、化石燃料を使いすぎることによって地球温暖化の悪化につながっているそうだ。そこで、人々が化石燃料をつかいすぎになり生活を送ることはできなりのだろうか。

化石燃料などのエネルギーの消費量が増えていたのは、人口増加や産業の発展によることだそうだ。それが地球温暖化の悪化につながってしまつのである。地球温暖化の原因」といつ資料を見ると、このまま化石燃料の消費量が増え続けると地球温暖化や気候変動がますます深刻になると書かれている。このまま化石燃料を人々が使いすぎると地球温暖化が悪化し、気候変動などが増えて自然災害などがおきやすくなると思ふ。なので、人々の生活に悪影響をうけてしまう可能性がある。そこで「再生可能エネルギー」を使っていくことが大切だと思う。再生可能エネルギーは二酸化炭素を排出せず、環境にやさしいため、地球温暖化解消に適している。しかし、世界の発電に占める再生可能エネルギーによる電力の割合と再生可能エネルギーでは水力が多いんだね。



が再生可能ではないエネルギーが73.8%だとわかる。1によると再生可能エネルギーは世界の中ではあまり使われてしない。なので、化石燃料のかわりに再生可能エネルギーを未来のエネルギーとして使っていくことが大切だと感じる。他にも、エネルギーを節約したりなどの自分たちができることがあると感じる。

確かに、便利な生活あるには化石燃料などのエネルギーを使うことは大切なかもしれません。しかし、これから先の未来人々は生活も続けていく。それで、人々が便利+を求めすぎて地球温暖化をこれ以上悪化させることを決してやるべれることではなじみのない。これから地球の環境を守るために、自分のできることをやっていきたい。

（出典）「国々、裕子とチレーナー・未来的SDGs②『誰もが』に開かれて』」文溪堂

「SDG TARGETSのSDGsの世界の国や地域が協力して持続可能な開発を目指すSDGsの東洋書籍